



消息 十一月廿三日付 冬木小平治宛 一燈筆(部分)  
(展示期間: 5月27日~7月5日)

裏千家八代

令和3年  
春季特別展

2021  
4/17  
《SAT》

7/5  
《MON》

※期間中に一部展示替えを行います。

入館と呈茶は予約をお願いします

HP・電話で予約受付

休館日 日曜日(但し、5月3日、7月5日は開館)、第2、4火曜日  
展示替え期間: 5月24日(月)~26日(水)  
開館時間 午前9時30分~午後4時30分(入館は午後4時まで)  
入館料 一般: 1000円  
大学生: 600円  
中学生: 350円  
小学生以下ならびにメンバーシップ校の方は無料

又玄斎一燈と  
その時代

ゆう

げん

さい

いっ

とう

2021 Special Spring Exhibition

Yūgensai Ittō  
and  
His Era

茶道資料館  
Chado Research Center

〒602-0073 京都市上京区堀川通寺之内上る寺之内堅町682番地  
裏千家センター内 TEL: 075-431-6474

<http://www.urasenke.or.jp/text/gallery/tenji/index.html>(日本語)

<http://www.urasenke.or.jp/text/organ/konnichian/gallery/index.html>(English)



赤茶碗 銘三郎 表千家六代覚々斎作



竹一重切花入 銘雲鷺山 一燈作 茶道資料館蔵  
(展示期間: 4月17日~5月23日)

# 又玄斎一燈とその時代

## Yūgensai Ittō and His Era

令和2年は裏千家八代家元・又玄斎一燈(表千家六代家元・覚々斎の三男[1719~1771])の250回忌の年でした。本展では、これを記念して、現今の家元制度の礎が築かれた18世紀半ばに焦点を当て、兄如心斎(表千家七代家元)と共に千家茶道を支えた一燈の功績を紹介します。また、高弟達の活躍や、新たに制定された茶法・七事式などを機軸に、関連する茶道具を展示します。※昨年開催予定の展覧会を改めて開催します。

18世紀半ばは、茶の湯が一般の町人層にまで大きな広がりを見せて茶道人口が増大し、千家においても多くの門弟を抱えるようになった時代でした。利休以来の伝統を守りつつ、新たな時代に対応していくか、千家茶道の在り方について、その方向性が求められる中、如心斎がその骨格を示し、一燈が次世代へと繋げる役割を果たしました。令和という新時代の入り口に立ち、一燈とその時代を振り返る展観といたします。

### 《裏千家八代家元・又玄斎一燈 相関図》

次兄 [裏千家七代]  
竺叟宗乾



駒留棗 竺叟好(※1)

父 [表千家六代]  
覚々斎



老松割蓋茶器 覚々斎好  
表千家不審菴藏(※1)

三男

[裏千家八代]  
又玄斎一燈



1



2



3

1. 赤茶碗 銘雪辰 一燈作
2. 老松茶器 一燈好 茶道資料館蔵(※1)
3. 竹茶杓 銘玉の枕 一燈作(※2)

長兄 [表千家七代]  
如心斎



黒茶碗 銘ムリクヒ  
如心斎作

高弟

速水宗達

高弟

川上不自

※1 展示期間：4月17日~5月23日 ※2 展示期間：5月27日~7月5日

### 関連情報

呈茶 平日のみ。事前予約制(有料) HP・電話で予約受付

### 今日庵文庫

展覧会期間中、今日庵文庫の閲覧室において

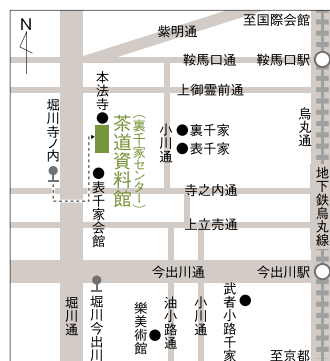
又玄斎一燈の関連茶書を展示しています。

[入館料] 無料

※今日庵文庫の閉館日時はHPでご確認下さい。

### 茶道資料館メンバーシップ校(加盟順)

京都芸術大学、立命館、光華女子学園、京都大学、京都工芸繊維大学、同志社、  
京都教育大学、平安女学院、京都文教学園、花園学園、京都精華大学、  
京都府立医科大学、京都府立大学、京都外国語大学、京都産業大学、京都先端科学大学



### 交通案内 ACCESS

市バス JR京都駅中央口のりばB1より⑨  
阪急大宮駅→四条堀川より⑨⑩  
いずれも堀川寺ノ内下車、徒歩3分  
京阪出町柳駅より⑨⑩、堀川今出川下車  
堀川通東側を北へ徒歩10分  
地下鉄 烏丸線鞍馬口駅下車、西へ徒歩15分  
東西線二条城前駅より市バス⑨⑩  
堀川寺ノ内下車、徒歩3分

茶道資料館  
Chado Research Center

